

2021年度活動報告書

事業名	具体的な事業内容	2021 年度実績
組織強化事業	会員の増強	会員数は、年度初に66名（正会員40名、賛助会員26名）でしたが、反応のない会員は自然退会とし、正会員16名、賛助会員25名となりましたが、気持ちのある人だけで良いと考えている。
	冊子 ST アーカイブス 2種制作配布	100冊は会員と高等学校に配布。200冊は今後の活動資料として
	スマート・テロワール協会と連携	コロナのため、理事会、オンライン講演会にZoomで参加。
研究学習事業	東信オンライン ST 研究会	スマート・テロワール協会の月例オンライン講演会に参加した
	書籍販売	高等学校への配布は中古本を買い集めた
農工連携事業	りんごを生かした地域振興 ブドウでテロワールのワインづくり 有機栽培で地産地消を目指す	たてしなアップル（小宮山会員）：小規模りんご農家の受託醸造連携。小規模葡萄栽培農家と受託醸造連携が進んでいる。 いざわの畑：I ターンの伊澤会員が 2014 年からブドウを植え、2018 年から委託醸造、現在ワイナリー建設を計画中 Farm めぐる：吉田理事が耕作面積を倍の 10ha に拡大。契約栽培と加工に注力
耕畜連携事業	畜産農家と飼料穀物農家の連携事業 きたやつハム社 矢島牧場 蓼科牛「いっとう」	放牧養豚拡充をめざし、マニュアル作成中。 NS-α 乳酸菌試験使用の助成は、一定の成果（子牛の育成に有効）が得られたので、助成を打ち切った。 進展が見られなかった。
やさいバス事業	「やさいバス」導入：生産者と消費者を直接つなぐシステムの導入	2回会合を持ったが、興味は示しても、関心が盛り上がりせず、一旦中止とし、松本地区（3年前から試験運行）の様子を見ることにした。
高校生プレゼン事業	将来の農業経営者を育てるため、東信地域の全高校でプレゼンテーションをさせて頂く	東信地域高等学校校長会のご協力を頂き、東信地域 18 高等学校に、約 1 万枚を配布したが、生徒からも先生方からも応答は皆無だった。しかし、数年は続けるつもり。問題が深刻だということの意味している。

会計報告

科目CD	科目	決算額
6151	正会員受取会費	108,000
6171	賛助会員受取会費	340,000
	受取会費計	448,000
	受取寄付金	
6501	受取寄付金	1,510,000
	受取寄付金計	1,510,000
6204	書籍販売収益	3,600
6210	農業資材販売収益	98,835
	事業収益計	102,435
	その他収益	
6551	受取利息	4
	その他収益計	4

科目CD	科目	決算額
	経常収益合計	2,060,439
■スマート・テロワール事業		
	農業資材事業計	98,835
	組織強化事業費計	1,455,359
	研究学習事業費計	22,110
	高校生プレゼン事業費計	225,217
■スマート・テロワール事業計		
	管理費計	577,758
	正味財産期首残高	541,393
	正味財産期末残高	222,553